

平成28年度行政事業レビューシート(文部科学省)

事業名	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金に必要な経費			担当部局庁	研究開発局	作成責任者			
事業開始年度	平成15年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	宇宙開発利用課	宇宙開発利用課長 堀内 義規			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	宇宙基本法 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構法第18条第1項			関係する計画、通知等	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構第3期中期計画 宇宙基本計画(平成28年4月1日閣議決定)等				
主要政策・施策	宇宙開発利用			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構において、大学との共同等による宇宙科学に関する学術研究、宇宙科学技術に関する基礎研究及び宇宙に関する基盤的研究開発並びに人工衛星等の開発、打上げ、追跡及び運用並びにこれらに関連する業務を、総合的かつ計画的に行うとともに、航空科学技術に関する基礎研究及び航空に関する基盤的研究開発並びにこれらに関連する業務を総合的に行うことにより、大学等における学術研究の発展、宇宙科学技術及び航空科学技術の水準の向上並びに宇宙の開発及び利用の促進を図ることを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	関係府省と緊密に連携しながら、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構において以下の施策を推進する。 ・宇宙空間へのアクセスを可能とする手段として、自立的な宇宙活動の根幹である「宇宙輸送システム」 ・社会的ニーズの高い災害対応に資する衛星の研究開発等を推進するとともに、新たな利用の創出を図る「衛星による宇宙利用」 ・我が国の特徴を活かした独創的かつ先端的な研究を推進するとともに、未知のフロンティアである宇宙の探査に挑戦する「宇宙科学・宇宙探査」 ・国際宇宙ステーション(ISS)/日本実験棟「きぼう」を利用した「宇宙環境利用の推進」 ・民間では保有困難な大型・高性能の風洞施設等の試験設備を整備・供用し、航空科学技術に係る先端的・基盤的な研究開発を実施する「航空科学技術」 ・ロケットや衛星に係る信頼性向上や宇宙航空科学技術に係る基礎・基盤的な研究開発を実施する「基礎・基盤的な研究開発」								
実施方法	交付								
予算額・執行額(単位:百万円)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
	予算の状況	当初予算	109,769	112,133	114,472	105,343			
		補正予算	0	1,835	10,082				
		前年度から繰越し	0	0	0	0			
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0			
		予備費等	0	0	0	0			
	計	109,769	113,968	124,554	105,343	0			
執行額	109,769	113,968	124,554						
執行率(%)	100%	100%	100%						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価結果において、全ての項目で標準評価以上の評価を受ける。 注1:平成25年度については、独立行政法人評価委員会の年度評価結果で標準評価以上の評価を受けた項目の割合とする。 注2:国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の行う事業は、毎年度、独立行政法人評価委員会による達成度の評価を受けている。	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。 注1:平成25年度については、標準評価(A評価)以上の評価を受けた項目の割合。 注2:「地球観測衛星の開発に必要な経費」及び「国際宇宙ステーション開発に必要な経費」による実績も一部含まれる。 注3:平成27年度の成果実績は評価確定後に記載	成果実績	%	97	100	-	-	-
		目標値	%	100	100	100	100	100	
		達成度	%	97	100	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	<宇宙科学・宇宙探査>宇宙科学・宇宙探査を目的とする様々な衛星・探査機の研究開発、運用を通じた成果を創出する。	過去10年間ににおける高被引用論文(*)数 ※トムソンロイターのデータベースである、Essential Science Indicatorsでは、科学全体を大きく22の研究分野に分類しており、それぞれの分野において被引用数が上位1%の論文を高被引用論文(Highly Cited Papers)と定義している。	成果実績	編	49	51	51	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック		

活動指標及び活動実績		活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	<宇宙輸送システム> 基幹ロケットの打上げ成功数。	活動実績		件	3	5	3	-
		当初見込み		件	3	5	3	5
活動指標及び活動実績		活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	<宇宙科学・宇宙探査> 宇宙科学・宇宙探査を目的とする様々な衛星・探査機の 研究開発、運用による実績(査読付き論文数)。	活動実績		編	319	322	298	-
		当初見込み		-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績		活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	<航空科学技術> 当初見込み:年度当初のプロジェクト数(計画も含む) 活動実績:年度当初の実施計画以上の実績を上げたプロジェクト数	活動実績		件	1	4	4	
		当初見込み		件	2	5	4	3
活動指標及び活動実績		活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	<基礎・基盤的な研究開発> 開発を完了したコンポーネント数	活動実績		件	3	3	1	-
		当初見込み		件	3	3	1	0
活動指標及び活動実績		活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	<衛星による宇宙利用> 地球観測データ蓄積量(※) ※過去3年間の差分の平均を前年実績値に上乘せし、 当初見込みに設定している。	活動実績		TB	2,526	3,059	3,433	-
		当初見込み		TB	2,494	2,721	3,386.5	3,886.5
単位当たりコスト		算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
単位当たりコスト	※国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構が行う基礎研究及び基盤的研究開発並びに人工衛星等の開発、 打上げ、運用等を総合的に実施するうえで必要な 交付金のため、単位当たりコストの算出は困難	単位当たりコスト		-	-	-	-	-
		計算式		/	-	-	-	-
平成28・29年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由				
	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金	105,343						
	計	105,343	0					

	政策	9 科学技術の戦略的重点化		
	施策	9-3 環境分野の研究開発の重点的推進		
測定指標	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)
	陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)及び「だいち2号」(ALOS-2)観測データの関係機関への提供 (※衛星観測による成果の一つとして参考に示す)	-	-	防災関連機関等に対して観測データの提供を行うとともに、その利用拡大を図る。(毎年度)
				施策の進捗状況(実績)
	陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)及び「だいち2号」(ALOS-2)のデータ提供を行い、地球規模の環境問題解決に貢献した。(9,106件)			
		定性的指標	目標	目標年度
	温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)及びGOSAT-2観測データの関係機関への提供 (※衛星観測による成果の一つとして参考に示す)	-	-	国内外の研究機関に対して「いぶき」観測データの提供を推進する。また、「いぶき」の観測精度を向上させたGOSAT-2の開発を着実に実施する(平成29年度打ち上げ目標)。(毎年度)
				施策の進捗状況(実績)
	温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)の観測データの提供を行い、地球温暖化等の環境分野における諸問題解決に貢献した。(18,094,443件)			
		定性的指標	目標	目標年度
	陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)及び「だいち2号」(ALOS-2)による観測の状況	-	-	ALOS-2の着実な運用を行う。(毎年度)
				施策の進捗状況(実績)
	陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)及び「だいち2号」(ALOS-2)の着実な運用を行って観測を継続するとともに、防災関係機関等へ「だいち2号」及び「だいち」アーカイブデータを提供することで、発災後の状況把握に加えて、異変の早期発見にも活用されるようになり、防災機関の意思決定プロセスに衛星観測が組み入れられるようになった。			
定性的指標		目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)
温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)及びGOSAT-2による観測の状況	-	-	「いぶき」GOSATの着実な運用を行うとともに、GOSAT-2の開発を着実に実施する。(毎年度)	
			施策の進捗状況(実績)	
「いぶき」GOSATの着実な運用を行って、全球の温室効果ガス(二酸化炭素、メタン)の観測を継続し、地球大気全体の二酸化炭素平均濃度が400 ppmに近づくことを初めて示すとともに、人為起源メタン排出量の監視・検証ツールとして有効利用できることを示した。また、後継機であるGOSAT-2については、詳細設計を完了し、着実に開発を実施した。				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係			
陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)、「だいち2号」(ALOS-2)、温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)、GOSAT-2などによる地球観測のデータの蓄積等は、環境分野の諸問題を科学的に解明し、国民生活の質の向上と安全を図ることに寄与する。				

政策	9 科学技術の戦略的重点化								
	施策	9-6 宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進							
測定指標		定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
	JAXAによる査読付論文の発表数	実績値	件	391	435	465	-	-	
		目標値	件	350	350	350	-	350	
	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
	我が国の基幹ロケットであるH-IIA及びH-IIBロケットの各年度ごとの打ち上げ成功率	実績値	%	100	100	100	-	-	
		目標値	%	100	100	100	-	100	
	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
	宇宙科学研究や宇宙探査のための衛星の開発・運用の進捗状況	-	-	宇宙科学・探査に必要な観測データを取得し、世界一級の研究成果の創出及びこれからの担う新しい学問分野の開拓に貢献する。(毎年度)					
		施策の進捗状況(実績)						平成27年12月に小惑星探査機「はやぶさ2」の地球スイングバイを行い、計画通り加速され、目標としていた軌道を順調に航行している。また、金星探査機「あかつき」の金星周回軌道投入を平成27年12月に計画通り実施した。水星探査プロジェクト(BepiColombo)、ジオスペース探査衛星(ERG)等の打ち上げ準備を進めた。	
	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
	新型基幹ロケットの開発	-	-	我が国の自立的な打ち上げ能力の拡大及び打ち上げサービスの国際競争力の強化に資するべく、平成32年度の初号機の打ち上げを目指し、開発を着実に推進する。(毎年度)					
		施策の進捗状況(実績)						機体形態を選定し、ロケット機体のシステムならびに各サブシステム、および地上施設設備の基本設計を進めた。あわせてイプシロンロケットとのシナジーの方向性、現行基幹ロケット(H-IIAおよびH-IIB)からの移行計画について検討を進めた。	
	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
	固体ロケットシステムの維持・発展に向けた進捗状況	-	-	小型衛星の打ち上げに柔軟かつ効率的に対応できる、低コストかつ革新的な運用性を有するイプシロンロケットの研究開発及び打ち上げを宇宙基本計画に基づき行う。(毎年度)					
施策の進捗状況(実績)						イプシロンロケット2号機の開発とイプシロンロケット高度化開発を統合した強化型イプシロンについて、第2段および第3段の機器搭載構造の各種試験や、第2段モータ地上燃焼試験を行うなど、開発を行い、あわせて2号機の機体製造を進めた。			
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 31 年度		
JAXAが行う宇宙ステーション補給ミッションの実績(累計) ※ISS参加国はISS運用にかかる共通的なシステム運用経費の分担している。我が国はISSへの物資輸送により分担責任を果たしており、関係諸国との国際調整の状況を踏まえ、目標値を設定。	実績値	件	4	4	5	-	-		
	目標値	件	-	-	-	-	9		
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
文部科学省及びJAXAが主催するアジア太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF)を開催した実績	実績値	件	1	1	1	-	-		
	目標値	件	1	1	1	-	-		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	測定指標	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)
			国際的な協調を踏まえた、日本実験棟「きぼう」等の運用の進捗状況	-	-	有人宇宙技術及び宇宙環境利用技術をはじめとする広範な技術の高度化の促進及び国際協力の推進を目的として、日本実験棟「きぼう」における宇宙空間利用技術の実証と運用及び宇宙飛行士の搭乗を安全・確実に実施するとともに、将来無人・有人宇宙活動を行う上で必要となる技術、知見の蓄積を進める。(毎年度)
						施策の進捗状況(実績)
						日本実験棟「きぼう」の運用・利用を引き続き推進した。油井宇宙飛行士が7月よりISSへの長期滞在を開始し、宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)5号機のISSへの結合及びISSからの離脱の運用や、ブラジル宇宙機関及び千葉工業大学の超小型衛星放出などのミッションを成功裏に実施した。特に、HTV5号機のISSへの結合及びISSからの離脱の運用においては、油井宇宙飛行士がロボットアームの操作を行うとともに、米国航空宇宙局(NASA)ジョンソン宇宙センターの若田飛行士及び筑波宇宙センターのJAXA地上管制チームと連携し、チームジャパンの技術力を示した。HTV5号機は、NASAからの緊急物資輸送の要望にも対応し、当初の計画以上の物資をISSへ輸送した。「きぼう」利用成果の最大化に向け、戦略的かつ有望な利用テーマの設定を図るため、テーマの選定プロセスを改善し、2020年までに国の健康・医療戦略(ヒト疾患関連エピゲノム研究、臓器立体培養等再生医療研究)に貢献する成果創出が期待できる3件の利用テーマを選定した。「高品質タンパク質結晶生成実験」では、有望かつ短期間で成果創出が期待できる機関との連携強化を推進し、新たな共同研究に着手した。国連宇宙部と、発展途上国等への超小型衛星放出の利用機会提供に係る協力取決めを締結し、新たな「きぼう」利用機会の拡大、多様な利用の実現を図った。
			定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)
			利用ニーズを踏まえた衛星システムの開発・運用の進捗状況	-	-	宇宙基本計画に基づき、利用ニーズを踏まえた衛星システムの開発・運用を行う。災害対策、地球規模の環境問題の解決等に貢献する宇宙技術の研究開発を継続し、衛星利用を一層促進する。研究開発の成果を最大限活動し、より広く社会・経済へ還元する。(毎年度)
						施策の進捗状況(実績)
						火山噴火予知連絡会等の防災機関における火山活動の観測・監視においてALOS-2が定常的に利用されており、桜島火山活動においては地殻変動の変動源の推定に、箱根山火山活動においては規制区域への立入再開及び安全対策の判断材料として活用された。また、平成27年9月の鬼怒川洪水においては、ALOS-2による浸水域の観測結果が、国土交通省の統合災害情報システム経由で省内および地上整備局に情報共有されるとともに、堤防決壊に伴う浸水域の把握や排水ポンプ車の配置・運用等で活用された。GCOM-W、GPM等の観測データ、及び国内外の衛星の観測データを複合的に利用したプロダクトである、世界の雨分布リアルタイム(GSMaP_NOW)の国内外のユーザへの提供を開始した。観測から4時間後に提供していた世界の雨分布を、実時間で提供可能としたことにより、地上レーダの配備されていない離島の自治体で利用が計画されており、地上観測が不足するアジア・オセアニア・西太平洋地域の国々に対するGSMaPの世界展開へ向けた、最初の社会実装例となる。
			定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)
			社会の要請に応える航空科学技術の研究開発の進捗状況	-	30	エンジンの高効率化、現行及び次世代の航空機の低騒音化並びに乱気流の検知能力向上等について、実証実験を通じて成果を上げる。
施策の進捗状況(実績)						
次世代ファンタービンシステム技術は、高効率軽量ファン及び軽量タービンに関し、要素技術の確認試験、解析を行い、高効率軽量化設計の見通しを高めるための基礎データを取得した。次世代旅客機の機体騒音低減技術は、飛行実証に向け、実証機の騒音基礎データ取得、飛行実証に用いる機体の高揚力・降着装置の低騒音化のための風洞試験、機体改造設計を実施した。乱気流検知技術は、乱気流事故防止機体技術の実証に向けて、飛行実証用搭載型システム用の搭載設計を実施するとともに、コンポーネントの製造に着手し、設計通り製造されていることを確認した。						

	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標		目標年度	
							-	年度	29	年度
測定指標	宇宙航空教育を取り入れるJAXAとの連携校の数	実績値	校	162	117	118	-	-	-	-
		目標値	校	80	80	80	-	-	80	-
	JAXAが教員研修・教員養成を実施した人数	実績値	人	1,897	1,020	1,929	-	-	-	-
		目標値	人	1,000	1,000	1,000	-	-	1,000	-
	JAXAとの連携地域拠点の数	実績値	拠点	4	2	4	-	-	-	-
		目標値	拠点	1	1	1	-	-	1	-
	JAXAによる宇宙教育指導者の育成人数	実績値	人	947	645	502	-	-	-	-
		目標値	人	500	500	500	-	-	500	-
	タウンミーティングの開催回数	実績値	回	15	10	10	-	-	-	-
		目標値	回	10	10	10	-	-	10	-
	博物館、科学館や学校等と連携した講演実施回数	実績値	回	670	614	662	-	-	-	-
		目標値	回	400	400	400	-	-	400	-
大学・企業等との共同研究の件数	実績値	件	718	758	689	-	-	-	-	
	目標値	件	500	500	500	-	-	500	-	
技術移転(ライセンス供与)契約件数	実績値	件	261	295	269	-	-	-	-	
	目標値	件	60	60	60	-	-	60	-	
施設・設備共用件数	実績値	件	135	156	64	-	-	-	-	
	目標値	件	50	50	50	-	-	50	-	
JAXAにおいて人材交流を行った数	実績値	人	852	806	747	-	-	-	-	
	目標値	人	500	500	500	-	-	500	-	
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
基幹ロケットの着実な打上げ成功や宇宙科学・宇宙探査を目的とする様々な衛星・探査機の研究開発、運用による成果、航空科学技術における着実なプロジェクト推進、各種コンポーネントの開発、地球観測データ蓄積は、宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進に寄与する。なお、査読付論文数、宇宙航空教育を取り入れるJAXAとの連携校数等については、中期計画(平成25年度～平成29年度)に基づき、目標値を記載している。										

改革項目 （第一階層） （第二階層） （第一階層） （第二階層） - - - - - -	分野:	-	-													
	KPI (第一階層)			成果実績 目標値 達成度	単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度						
											-	-	-	-	-	-
											%	-	-	-	-	-
	KPI (第二階層)			成果実績 目標値 達成度	単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度						
											-	-	-	-	-	-
											%	-	-	-	-	-
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係															

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	宇宙基本計画(平成28年4月1日閣議決定)を踏まえた取組であり、社会的ニーズの高い防災・災害対応技術の利用促進等を含むものであることから、優先度が高い事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	衛星、ロケット、航空機等に関する大型設備が必要かつリスクが高い研究開発を行うものであり、地方自治体、民間等に委ねることはできない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	宇宙基本計画(平成28年4月1日閣議決定)の実現に必要な取組であり、政策体系の中で優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)において、支出先の選定に当たっては、宇宙開発の特殊性により、一定の一者応札が避けられないものもあるが、真にやむを得ないものを除き、原則として一般競争入札等によることとするなど、競争性・透明性を確保する取組みを続けている。さらに、一般競争入札等により契約する場合であっても、入札公告前に、チェックシートを用いて競争性を妨げる要因がないかの自己点検を行うほか、電子入札システム、調達情報配信サービス、競争契約に係る仕様書を受領した業者を対象にウェブアンケートを実施するなどの改善を進めている。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	我が国の宇宙分野における自立性を確保することなどを目的に、国として実施すべき取組であり、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)において使途・費目の精査を行って締結した契約に基づき、適切に取組が実施されており、資金の流れは中間段階でも合理的である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	中期目標に基づき策定された中期計画の履行に必要な取組を実施するために締結する契約に関して、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)において契約時に使途・費目の精査を行っていることから、費目・使途は事業目的に即し真に必要なものに限定されている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)では、成果報告書、技術資料、調達仕様書等、事業に係る様々な資料をJAXA技術文書として管理・共有することで、業務の標準化・効率化を図っている。 ・プロジェクトへの移行時に行うプロジェクト移行審査において、コスト評価を実施しており、効率的な事業遂行に努めている。	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	独立行政法人通則法に基づき実施された各年度における業務の実績に関する評価において、高い評価を受けており、成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	宇宙・航空分野の研究開発は高度な専門性が必要であるため、その知見を有する国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)において実施することで実効性の高い手段となっている。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初見込み通り又は当初見込みを上回る実績を上げており、活動実績は見込みに見合ったものである。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	独立行政法人通則法に基づき実施された各年度における業務の実績に関する評価における「利用拡大のための総合的な取組」の項目において標準評価以上の評価を受けており、整備された施設や成果物は十分に活用されている。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	<p>国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)における取組は、宇宙基本計画(平成28年4月1日閣議決定)の実現に必要な取組であり、これらの取組は、社会的ニーズの高い防災・災害対応技術の利用促進、宇宙産業の振興、宇宙科学等のフロンティアの開拓、宇宙産業関連基盤や宇宙科学技術基盤の維持・強化等に大きく貢献するものである。衛星利用分野においては、「だいち2号」(ALOS-2)の着実な運用を行って観測を継続するとともに、防災関係機関等へ「だいち2号」及び「だいち」アーカイブデータを提供することで、発災後の状況把握に加えて、異変の早期発見にも活用されるようになり、防災機関の意思決定プロセスに衛星観測が組み入れられるようになるなど顕著な成果を上げている。また、宇宙環境利用分野においては、「高品質タンパク質結晶生成実験」において、有望かつ短期間での成果創出が期待できる機関との連携強化を推進し、新たな共同研究に着手するなど研究成果の最大化に向けた取組を着実に進めている。</p> <p>契約については、真にやむを得ないものを除き、原則として一般競争入札等により契約することとしている。また、一般競争入札等により契約する場合であっても、入札公告前に、チェックシートを用いて競争性を妨げる要因がないかの自己点検を行うほか、電子入札システム、調達情報配信サービス、競争契約に係る仕様書を受領した業者を対象にウェブアンケートを実施するなどの改善を進めている。</p>				
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 上記成果が出ていることを踏まえ、今後も政府の宇宙開発利用全体を技術で支える中核機関として積極的に取組みを進める。 契約の競争性、公平性、透明性を確保する観点から、引き続き、競争契約に係る仕様書を受領した業者へのアンケート調査結果を踏まえた仕様書の要求事項の明確化、適切な履行期間の確保等の改善を行うとともに、電子入札システムや調達情報メール配信サービスの利用拡大に努めていく。 調達改善の結果を継続し、一括調達や単価契約に取り組むとともに、国立研究開発法人間で調達実績等の情報を共有し、引き続き効率的な調達に努める。 				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
本事業の評価は、法人全体として事業の評価を行う必要があるため、個別に切り分けることが困難であり1事業としている。なお、分かりやすさを確保するために、資金の流れ図を柱毎に分割するなどの工夫を行っている。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	22-0330	平成23年度	23-0307	平成24年度	24-0324	
平成25年度	25-0299	平成26年度	26-0293	平成27年度	27-0283	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

別紙(資金の流れ図)参照

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.宇宙航空研究開発機構			B.衛星測位、衛星リモートセンシング、衛星通信・衛星放送		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
業務費	人工衛星・ロケット・航空機技術の開発等、これらの設備の維持・運用等、計算機の賃貸借、土地・建物賃借料、清掃業務等	96,215.8	業務費	人工衛星の開発・運用、人工衛星の利用研究・解析研究、人工衛星の追跡施設の設備維持等	10,690.5
人件費	役職員の給与・退職金・社会保険料等	17,154.7	人件費	職員の給与・退職金・社会保険料等	1,446.7
一般管理費	管理部門に係る物件費、公租公課	2,929.1			
計		116,299.6	計		12,137.2
C.宇宙輸送システム			D.宇宙科学・探査		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
業務費	ロケットの開発、射点系設備の保全作業等	33,604.8	業務費	人工衛星の開発、科学衛星・探査機運用に関わる管制運用作業等	17,583.5
人件費	職員の給与・退職金・社会保険料等	1,380.3	人件費	職員の給与・退職金・社会保険料等	2,321.6
計		34,985.1	計		19,905.2
E.有人宇宙活動			F.宇宙太陽光発電		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
業務費	「きぼう」搭載実験装置の開発、JEM利用実験支援、宇宙実験用供試体の設計・製作等	3,308.4	業務費	無線による送受電技術等に関する研究等	279.7
人件費	職員の給与・退職金・社会保険料等	1,557.2	人件費	職員の給与・退職金・社会保険料等	28.1
計		4,865.6	計		307.8
G.航空科学技術			H.横断的事項		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
業務費	次世代航空機技術の研究開発、試験装置の製作等	6,310	業務費	計算機の賃貸借、追跡管制運用業務、情報システムの運用管理業務、広報・普及活動業務、安全・信頼性業務技術支援等	20,927.6
人件費	職員の給与・退職金・社会保険料等	2,055.3	人件費	職員の給与・退職金・社会保険料等	4,255.3
計		8,365.3	計		25,182.9

費目・用途
(「資金の流れ」
においてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と用途
の双方で実情が
分かるように記
載)

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱電機株式会社	4010001008772	先進光学衛星の開発及び衛星管制・ミッション運用システム衛星固有部の構築及び初期運用を行う。	2,728	随意契約 (企画競争)	2	-	
2	日本電気株式会社	7010401022916	光データ中継衛星を用いた光衛星間通信システムの開発を行う。	637	随意契約 (企画競争)	2	-	
3	日本電気株式会社	7010401022916	光データ中継衛星を用いた光衛星間通信システムの設計検討、試作およびインタフェース検討等の関連する作業を実施する。	436	-	-	-	
4	一般財団法人リモート・センシング技術センター	8010405009768	地球観測衛星のミッション運用業務、並びに地球観測情報システムの運用業務を行う。	396	総合評価入札	1	-	
5	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	人工衛星の追跡管制運用業務及び追跡関連施設の設備維持業務を行う。	388	一般競争入札	1	-	
6	一般財団法人リモート・センシング技術センター	8010405009768	地球観測データの解析研究に関連する支援作業を行う。	371	総合評価入札	1	-	
7	日本電気株式会社	7010401022916	地球観測衛星用Ka帯受信システムの整備を行う。	320	随意契約 (企画競争)	3	-	
8	日本電気株式会社	7010401022916	光衛星間通信地上システムの設計検討及び試作評価を行う。	214	-	-	-	
9	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	準天頂衛星システム(QZSS)の運用業務を行う。	204	随意契約 (企画競争)	1	-	
10	日本電気株式会社	7010401022916	「みちびき」測位ペイロード及び地上システムの評価及び維持支援を実施する。	124	随意契約 (その他)	-	-	

※同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表としている。(以下同様)

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱重工業(株)	8010401050387	新型基幹ロケットの機体システムを開発する。	7,809	-	-	-	
2	三菱重工業(株)	8010401050387	新型基幹ロケット用1段エンジン開発のエンジンシステムに関する作業を実施する。	5,018	-	-	-	
3	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	新型基幹ロケットに適用する固体ロケットブースタ及び火工品の開発を実施する。	2,035	-	-	-	
4	(株)IHI	4010601031604	新型基幹ロケット用1段エンジン開発のターボポンプに関する作業を実施する。	1,789	-	-	-	
5	三菱重工業(株)	8010401050387	種子島宇宙センター射点系設備(射場点検取扱設備、高圧ガス貯蔵供給設備、大型ロケット組立棟設備)の保全作業を行う。(平成27年4月～平成28年3月)	1,685	-	-	-	
6	(株)IHI	4010601031604	角田宇宙センター供給系総合試験設備に対し、ターボポンプ試験設備の改修並び試験機能の付加を行う。	1,036	-	-	-	
7	三菱重工業(株)	8010401050387	ロケット製作に必要な専用治工具等の保守・維持を行う。	792	随意契約 (その他)	-	-	
8	株式会社コスモテック	7010001101987	種子島宇宙センターの共通系施設設備の保全運用作業を実施する。	682	-	-	-	
9	三菱重工業(株)	8010401050387	種子島宇宙センター射点系設備(射場点検取扱設備、高圧ガス貯蔵供給設備、大型ロケット組立棟設備)の保全作業を行う。(平成28年3月)	490	随意契約 (その他)	-	-	
10	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	種子島宇宙センター、小笠原追跡所および内之浦宇宙空間観測所の射場系/安全系設備について、月間点検、定期点検等の保全作業を実施し、その機能・性能の維持を図る。	466	一般競争入札	1	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本電気株式会社	7010401022916	X線天文衛星(ASTRO-H)のフライトモデルの開発を行う。	1,053	-	-	-	
2	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	イプシロンロケット2号機の機体製作を行う。	990	-	-	-	
3	日本電気株式会社	7010401022916	ジオスペース探査衛星のバス部の開発を行う。	907	-	-	-	
4	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	搭載衛星(ジオスペース探査衛星)のため、イプシロンロケット2号機の能力向上に向けた開発を行う。	545	-	-	-	
5	三菱電機株式会社	4010001008772	小型月着陸実証機「SLIM」の開発の開発を行う。	358	随意契約 (企画競争)	2	-	
6	三菱重工業(株)	8010401050387	ジオスペース探査衛星のミッション部の開発を行う。	331	-	-	-	
7	日本電気株式会社	7010401022916	科学衛星・探査機運用に関わる追跡運用作業等を行う。	282	随意契約 (その他)	-	-	
8	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	観測ロケットS-520-30号機の開発を行う。	185	-	-	-	
9	日本電気株式会社	7010401022916	イプシロンロケット2号機の計測通信系機器の製作を行う。	177	-	-	-	
10	日本電気株式会社	7010401022916	小惑星探査機(はやぶさ2)の地上系システムの改修を行う。	173	-	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱重工業(株)	8010401050387	JEM搭載小動物飼育装置の付属品及び消耗品の調達を実施する。	440	-	-	-	
2	三菱重工業(株)	8010401050387	JEMに搭載する小動物飼育装置の開発を行う。	406	-	-	-	
3	一般財団法人 日本宇宙フォーラム	1010005007996	JEMの利用テーマに関し、実験要求書の作成、地上予備実験の実施等により、テーマ提案者の準備作業を支援する。	175	一般競争入札	1	-	
4	米国航空宇宙局(NASA)		小動物飼育実験をスペースXドラゴンに搭載するために必要となる射場作業及び輸送関連作業を行う。	110	随意契約 (その他)	-	-	
5	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	JEM搭載用静電浮遊炉を構成する機器類のフライト予備品を整備する。	107	随意契約 (企画競争)	1	-	
6	ダイヤモンドエアサービス株式会社	6180001051878	JEMにおける宇宙実験の予備の実験を航空機による短時間微小重力空間利用を行う。	90	随意契約 (公募)	1	-	
7	三菱電機株式会社	4010001008772	ループヒートパイプラジエータ(LHPR)技術実証に用いるループヒートパイプの製作を行う。	70	随意契約 (その他)	-	-	
8	株式会社IHI検査計測	4010701000913	多目的実験ラック搭載用の固体燃焼実験装置の開発を行う。	68	-	-	-	
9	三菱重工業(株)	8010401050387	JEM搭載用水棲生物継代実験装置フライトモデルの設計、製作等と、フライトに必要な支援を行う。	61	随意契約 (その他)	-	-	
10	千代田化工建設株式会社	3020001018029	JEMで実施する細胞培養実験の供試体(フライトモデル)の製作を行う。	54	随意契約 (その他)	-	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱電機株式会社	4010001008772	マイクロ波ビーム方向制御装置の改良検討及び制御精度評価試験に向けた計画検討を行う。	73	随意契約 (その他)	-	-	
2	川崎重工業(株)	1140001005719	レーザー方式宇宙太陽光発電システムの研究開発として、地上伝送実験用レーザー伝送システムの開発を行う。	48	随意契約 (その他)	-	-	
3	三菱電機株式会社	4010001008772	マイクロ波ビーム方向制御装置における電子補正制御(REV制御)高速化実証試験を行う。	30	随意契約 (その他)	-	-	
4	株式会社日立ビルシステム	2010001027031	レーザー方式宇宙太陽光発電システムにおける上下伝送試験準備等作業を行う。	22	随意契約 (その他)	-	-	
5	シャープ株式会社	6120001005484	高効率光電変換技術の開発を行う。	18	随意契約 (その他)	-	-	
6	株式会社メイテック	1180001027412	宇宙太陽光発電システム(SSPS)研究開発に係る支援業務を行う。	9	一般競争入札	1	-	
7	株式会社メイテック	1180001027412	宇宙太陽光発電システム(SSPS)研究開発に係る支援業務を行う。	8	一般競争入札	1	-	
8	株式会社コスモテック	7010001101987	角田宇宙センターにおけるL-SSPSサブシステムに係る研究開発支援を行う。	8	-	-	-	
9	株式会社三菱総合研究所	6010001030403	SSPS研究開発シナリオ、ロードマップの策定に向けた技術調査等を行う。	7	一般競争入札	1	-	
10	株式会社プリード	1013101001154	レーザー伝送時に大気屈折構造関数を測定するシンチロメータを購入する。	7	随意契約 (その他)	-	-	

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱電機株式会社	4010001008772	乱気流検知装置の開発を行う。	528	随意契約 (その他)	-	-	
2	(株)IHI	4010601031604	高効率軽量ファン・タービン技術実証に関する複合材料製造技術のデータ取得等を行う。	476	-	-	-	
3	株式会社コスモテック	7010001101987	風洞運用業務を行う。	169	一般競争入札	1	-	
4	富士重工業株式会社	5011101019196	第3回D-SEND#2落下試験に対する支援作業を行う。	129	随意契約 (企画競争)	1	-	
5	ダイヤモンドエアサービス株式会社	6180001051878	JetFTB飛行を用いて飛行実証するための低騒音化デバイスの設計・製作を行う。	126	-	-	-	
6	スウェーデン宇宙公社	-	気球を用いたソニックブーム計測及び供試体落下試験(D-SEND #2)の支援を行う。	107	-	-	-	
7	株式会社守谷商会	2010001059025	ファンブレード衝撃試験機の製作を行う。	83	一般競争入札	1	-	
8	ダイヤモンドエアサービス株式会社	6180001051878	ライダ高高度モデルによる大気観測飛行及び乱気流検知装置の搭載設計作業を行う。	72	随意契約 (その他)	-	-	
9	三菱スペース・ソフトウェア株式会社	9010401028746	航空機搭載型ドップラーライダーを用いた乱気流情報提供装置の設計・試作を行う。	70	随意契約 (その他)	-	-	
10	川崎重工業(株)	1140001005719	遷音速フラッタ試験設備の気流制御システムの一部改修を行う。	62	随意契約 (その他)	-	-	

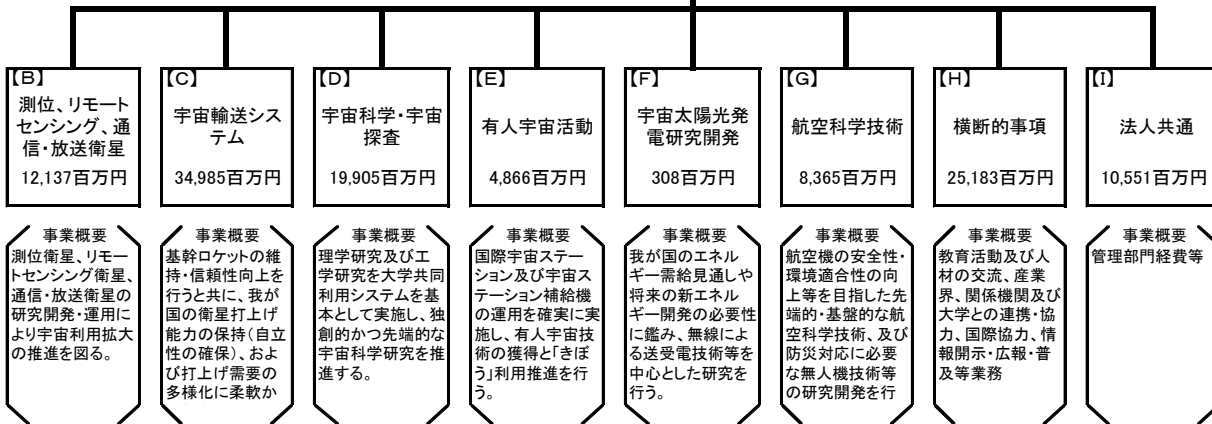
文部科学省
124,554百万円

事業概要
国立研究開発法人宇宙航空研究
開発機構に対し、その業務の財源
に充てるために必要な金額を交付

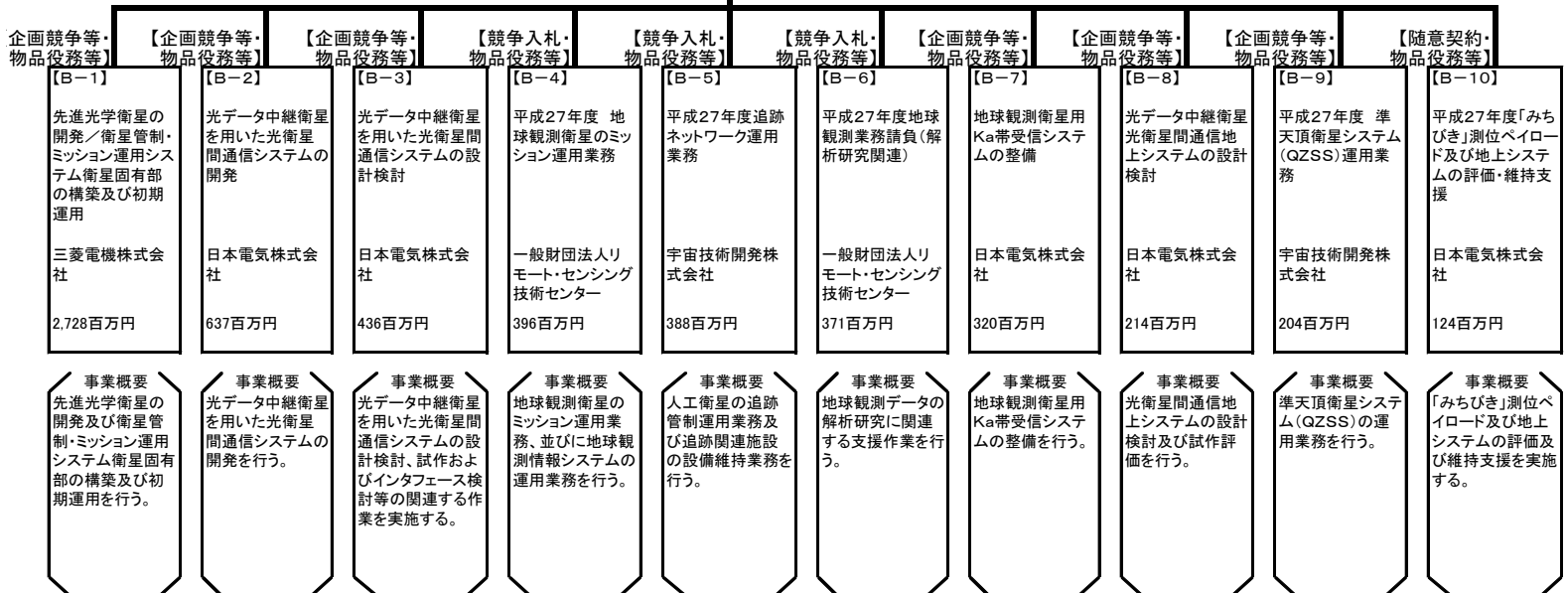
[交付]

[A] 国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構
116,300百万円※

※支出決定額を記載
法人において繰越しを行っているため、文部科学省の交付額と
異なっている



[B]
測位、リモートセンシング、通信・放送衛星



【C】
宇宙輸送システム

企画競争等・物品役務等	【随意前公募・物品役務等】	【随意前公募・物品役務等】	【随意前公募・物品役務等】	【随意前公募・物品役務等】	【随意前公募・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】
【C-1】	【C-2】	【C-3】	【C-4】	【C-5】	【C-6】	【C-7】	【C-8】	【C-9】	【C-10】
新型基幹ロケット機体システム開発	新型基幹ロケット用1段エンジンの開発—エンジンシステム	新型基幹ロケット固体ロケットブースタ及び火工品開発	新型基幹ロケット用1段エンジンの開発—ターボポンプ	平成27年度種子島宇宙センター射点系設備保全作業	供給系総合試験設備 新型基幹ロケット用1段エンジンターボポンプ対応および液体酸素ターボポンプ試験機能付加改修	ロケット専用治工具等の保守・維持(その8のA)	平成26年度～平成28年度種子島宇宙センター共通系施設設備等保全運用作業	平成28年度種子島宇宙センター射点系設備保全作業	平成27年度 射場系設備保全作業
三菱重工業(株) 7,809百万円	三菱重工業(株) 5,018百万円	株式会社IHIエアロスペース 2,035百万円	(株)IHI 1,789百万円	三菱重工業(株) 1,685百万円	(株)IHI 1,036百万円	三菱重工業(株) 792百万円	株式会社コスモテック 682百万円	三菱重工業(株) 490百万円	宇宙技術開発株式会社 466百万円
事業概要 新型基幹ロケットの機体システムを開発する。	事業概要 新型基幹ロケット用1段エンジン開発のエンジンシステムに関する作業を実施する。	事業概要 新型基幹ロケットに適用する固体ロケットブースタ及び火工品の開発を実施する。	事業概要 新型基幹ロケット用1段エンジン開発のターボポンプに関する作業を実施する。	事業概要 種子島宇宙センター射点系設備(射場点検取扱設備、高圧ガス貯蔵供給設備、大型ロケット組立棟設備)の保全作業を行う。	事業概要 角田宇宙センター供給系総合試験設備に対し、ターボポンプ試験設備の改修並び試験機能の付加を行う。	事業概要 ロケット製作に必要な専用治工具等の保守・維持を行う。	事業概要 種子島宇宙センターの共通系施設設備の保全運用作業を実施する。	事業概要 種子島宇宙センター射点系設備(射場点検取扱設備、高圧ガス貯蔵供給設備、大型ロケット組立棟設備)の保全作業を行う。	事業概要 種子島宇宙センター、小笠原追跡所および内之浦宇宙空間観測所の射場系/安全系設備について、月間点検、定期点検等の保全作業を実施する。

【D】
宇宙科学・宇宙探査

企画競争等・物品役務等	【随意契約・物品役務等】	【企画競争等・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【企画競争等・物品役務等】	【企画競争等・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】
【D-1】	【D-2】	【D-3】	【D-4】	【D-5】	【D-6】	【D-7】	【D-8】	【D-9】	【D-10】
X線天文衛星ASTRO-H フライトモデルの開発	イプシロンロケット2号機の製作	ジオスペース探査衛星パスの開発(その1)	イプシロンロケット高度化開発	小型月着陸実証機「SLIM」の開発	ジオスペース探査衛星 ミッション部の開発(その1)	平成27年度 科学衛星・探査機の局管制運用等業務(内之浦、臼田)	観測ロケットS-520-30号機の開発	イプシロンロケット2号機 計測通信系機器の製作	小惑星探査機「はやぶさ2」地上系システムの改修等
日本電気株式会社 1,053百万円	株式会社IHIエアロスペース 990百万円	日本電気株式会社 907百万円	株式会社IHIエアロスペース 545百万円	三菱電機株式会社 358百万円	三菱重工業(株) 331百万円	日本電気株式会社 282百万円	株式会社IHIエアロスペース 185百万円	日本電気株式会社 177百万円	日本電気株式会社 173百万円
事業概要 X線天文衛星(AS TRO-H)のフライトモデルの開発を行う。	事業概要 イプシロンロケット2号機の機体製作を行う。	事業概要 ジオスペース探査衛星のパス部の開発を行う。	事業概要 搭載衛星(ジオスペース探査衛星)のため、イプシロンロケット2号機の能力向上に向けた開発を行う。	事業概要 小型月着陸実証機「SLIM」の開発を行う。	事業概要 ジオスペース探査衛星のミッション部の開発を行う。	事業概要 科学衛星・探査機運用に関わる追跡運用作業等を行う。	事業概要 観測ロケットS-520-30号機の開発を行う。	事業概要 イプシロンロケット2号機の計測通信系機器の製作を行う。	事業概要 小惑星探査機(はやぶさ2)の地上系システムの改修を行う。

【E】
有人宇宙活動

【随意契約・物品役務等】	【企画競争等・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【企画競争等・物品役務等】	【随意前公募・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【企画競争等・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】
【E-1】	【E-2】	【E-3】	【E-4】	【E-5】	【E-6】	【E-7】	【E-8】	【E-9】	【E-10】
JEM搭載小動物飼育装置補用品の調達	JEM搭載小動物飼育装置の開発(その2)	平成27年度「きぼう」日本実験棟利用テーマの実験準備支援	小動物飼育実験のためのユニークサービスの調達	JEM搭載用静電浮遊炉 フライト予備品の整備	平成27年度 宇宙環境利用に係る航空機実験の実施	ルーブヒートパイププラズマ軌道上実証実験用ハードウェアの開発(その4)	多目的実験ラックを利用する固体燃焼実験装置の開発(その1)	水棲生物継代実験装置の製作および技術支援(その1)	平成27年度細胞培養実験供試体のフライトモデルの製作
三菱重工業(株) 440百万円	三菱重工業(株) 406百万円	一般財団法人 日本宇宙フォーラム 175百万円	米国航空宇宙局(NASA) 110百万円	株式会社IHIエアロスペース 107百万円	ダイヤモンドエアサービス株式会社 90百万円	三菱電機株式会社 70百万円	株式会社IHI検査計測 68百万円	三菱重工業(株) 61百万円	千代田化工建設株式会社 54百万円
事業概要 JEM搭載小動物飼育装置の付属品及び消耗品の調達を実施する。	事業概要 JEMに搭載する小動物飼育装置の開発を行う。	事業概要 JEMの利用テーマに関し、実験要求書の作成、地上予備実験の実施等により、テーマ提案者の準備作業を支援する。	事業概要 小動物飼育実験をスペースXドラゴンに搭載するために必要となる射場作業及び輸送関連作業を行う。	事業概要 JEM搭載用静電浮遊炉を構成する機器類のフライト予備品を整備する。	事業概要 JEMにおける宇宙実験の予備的実験を航空機による短時間微小重力空間利用を行う。	事業概要 ルーブヒートパイププラズマ軌道上実証実験に用いるルーブヒートパイプの製作を行う。	事業概要 多目的実験ラック搭載用の固体燃焼実験装置の開発を行う。	事業概要 JEM搭載用水棲生物継代実験装置フライトモデルの設計、製作等と、フライトに必要な支援を行う。	事業概要 JEMで実施する細胞培養実験の供試体(フライトモデル)の製作を行う。

【F】 宇宙太陽光発電研究開発

【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】
【F-1】 マイクロ波ビーム方向制御装置の改良検討及び制御精度評価試験(追加試験)に向けた計画検討等 三菱電機株式会社 73百万円	【F-2】 レーザー方式宇宙太陽光発電システム地上伝送実験用レーザー伝送システムの開発(その2) 川崎重工(株) 48百万円	【F-3】 マイクロ波ビーム方向制御装置における電子補正制御(REV制御)高速化実証試験 三菱電機株式会社 30百万円	【F-4】 レーザー方式宇宙太陽光発電システム上下伝送試験準備等作業 株式会社日立ビルシステム 22百万円	【F-5】 高効率光電変換技術の開発 シャープ株式会社 18百万円	【F-6】 宇宙太陽光発電システム(SSPS)研究開発に係る支援業務(そのア) 株式会社メイテック 9百万円	【F-7】 宇宙太陽光発電システム(SSPS)研究開発に係る支援業務(そのイ) 株式会社メイテック 8百万円	【F-8】 平成26年度 L-SSPSサブシステム要素研究に係る研究開発支援業務 株式会社コスモテック 8百万円	【F-9】 SSPS研究開発シナリオ、ロードマップの策定に向けた技術調査等 株式会社三菱総合研究所 7百万円	【F-10】 シンチロメータLSMkIIの購入 株式会社ブリード 7百万円
事業概要 マイクロ波ビーム方向制御装置の改良検討及び制御精度評価試験に向けた計画検討を行う。	事業概要 レーザー方式宇宙太陽光発電システムの研究開発として、地上伝送実験用レーザー伝送システムの開発を行う。	事業概要 マイクロ波ビーム方向制御装置における電子補正制御(REV制御)高速化実証試験を行う。	事業概要 レーザー方式宇宙太陽光発電システムにおける上下伝送試験準備等作業を行う。	事業概要 高効率光電変換技術の開発を行う。	事業概要 宇宙太陽光発電システム(SSPS)研究開発に係る支援業務を行う。	事業概要 宇宙太陽光発電システム(SSPS)研究開発に係る支援業務を行う。	事業概要 角田宇宙センターにおけるL-SSPSサブシステムに係る研究開発支援を行う。	事業概要 SSPS研究開発シナリオ、ロードマップの策定に向けた技術調査等を行う。	事業概要 レーザー伝送時に大気屈折構造関数を測定するシンチロメータを購入する。

【G】 航空科学技術

【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【企画競争等・物品役務等】	【企画競争等・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】
【G-1】 乱気流検知装置の開発(その2) 三菱電機株式会社 528百万円	【G-2】 【IHIとの共同研究】高効率軽量ファン・タービン技術実証に関する共同研究 (株)IHI 476百万円	【G-3】 平成27年度～平成29年度 風洞技術開発センター風洞運用業務 株式会社コスモテック 169百万円	【G-4】 低ソニックブーム設計概念実証(D-SEND)プロジェクト D-SEND#2落下試験支援(その3) 富士重工株式会社 129百万円	【G-5】 JAXA実験用航空機「飛翔」用低騒音化デバイスの設計・製作 ダイヤモンドエアサービス株式会社 126百万円	【G-6】 気球を用いたソニックブーム計測の支援及び供試体落下試験(D-SEND#2)の支援 スウェーデン宇宙公社 107百万円	【G-7】 ファンブレード衝撃試験機の製作 株式会社守谷商会 83百万円	【G-8】 乱気流事故防止システムの飛行実証(その1) ダイヤモンドエアサービス株式会社 72百万円	【G-9】 乱気流情報提供装置の開発(その1) 三菱スペース・ソフウェア株式会社 70百万円	【G-10】 選音速フラッタ試験設備気流制御システムの一部改修 川崎重工(株) 62百万円
事業概要 乱気流検知装置の開発を行う。	事業概要 高効率軽量ファン・タービン技術実証に関する複合材料製造技術のデータ取得等を行う。	事業概要 風洞運用業務を行う。	事業概要 第3回D-SEND#2落下試験に対する支援作業を行う。	事業概要 JetFTB飛翔を用いて飛行実証するための低騒音化デバイスの設計・製作を行う。	事業概要 気球を用いたソニックブーム計測及び供試体落下試験(D-SEND#2)の支援を行う。	事業概要 ファンブレード衝撃試験機の製作を行う。	事業概要 ライダ高高度モデルによる大気観測飛行及び乱気流検知装置の搭載設計作業を行う。	事業概要 航空機搭載型ドップラーライダーを用いた乱気流情報提供装置の設計・試作を行う。	事業概要 選音速フラッタ試験設備の気流制御システムの一部改修を行う。

【H】 横断的事項

【競争入札・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意前公募・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】
【H-1】 平成27年度追跡ネットワーク運用業務 宇宙技術開発株式会社 1,360百万円	【H-2】 JAXAスーパーコンピュータシステムの賃貸借 株式会社JECC 822百万円	【H-3】 平成27年度～28年度 環境試験設備等の維持管理 株式会社エイ・イー・エス 579百万円	【H-4】 イプシロンロケット4号機の製作 株式会社IHIエアロスペース 499百万円	【H-5】 JAXA共通情報システムに係る運用管理業務 DNT総合情報サービス共同企業 429百万円	【H-6】 パース第1可搬局の移設整備 三菱電機株式会社 306百万円	【H-7】 平成26～28年度 筑波宇宙センター共通施設設備等保全運用作業 株式会社コスモテック 289百万円	【H-8】 平成26年度～平成28年度上期機構法人文書及び技術情報の管理支援 日本レコードマネジメント(株) 253百万円	【H-9】 宇宙用0.15μm SOI製造プロセスを用いたアナログ・デジタル混載回路の開発(その5) HIREC株式会社 200百万円	【H-10】 臼田・内之浦宇宙空間観測所 送受信設備の更新 日本電気株式会社 182百万円
事業概要 人工衛星の追跡管制運用業務及び追跡関連施設の設備維持業務を行う。	事業概要 統合スーパーコンピュータシステムの賃貸借を行う。	事業概要 人工衛星等の環境試験設備等の運用業務を行う。	事業概要 イプシロンロケット4号機の製作を行う。	事業概要 JAXA共通情報システムについて、システムの運用管理及び利用者支援の業務を行う。	事業概要 JAXA地上ネットワークシステム(GN)を構成する地上局のうち、パース第1可搬局の移設を行う。	事業概要 筑波宇宙センターの電気及び空調等の共通施設設備の保全作業を行う。	事業概要 機構法人文書と技術情報の管理の実務を支援する。	事業概要 宇宙用0.15μm SOI製造プロセスを用いたアナログ・デジタル混載回路の開発を行う。	事業概要 臼田・内之浦宇宙空間観測所の送受信設備の更新を行う。

【I】
法人共通

【競争入札・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【企画競争等・物品役務等】	【随意契約・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【競争入札・物品役務等】	【企画競争等・物品役務等】	【随意前公募・物品役務等】
<p>【I-1】</p> <p>平成27年度 輸送系業務実施環境の提供</p> <p>日本電気株式会社 129百万円</p>	<p>【I-2】</p> <p>筑波・調布地区借上宿舎賃貸借契約に伴う賃料等(平成27年度分)</p> <p>(株)長谷工ビジネスプロクシー 90百万円</p>	<p>【I-3】</p> <p>平成26～28年度 筑波宇宙センター共通施設設備等保全運用作業</p> <p>株式会社コスモテック 89百万円</p>	<p>【I-4】</p> <p>平成26年度給与関連業務</p> <p>株式会社セゾン情報システムズ 72百万円</p>	<p>【I-5】</p> <p>平成27年度社会連携講座設置契約</p> <p>国立大学法人 東京大学 57百万円</p>	<p>【I-6】</p> <p>平成25年度～平成27年度上期 資産管理業務</p> <p>株式会社スペースサービス 53百万円</p>	<p>【I-7】</p> <p>平成27年度下期～平成29年度 資産管理業務</p> <p>株式会社スペースサービス 50百万円</p>	<p>【I-8】</p> <p>科学衛星データ処理システム新計算機 運用・保守</p> <p>新日鉄住金ソリューションズ株 34百万円</p>	<p>【I-9】</p> <p>筑波宇宙センター展示館(スペースドーム)リニューアル作業</p> <p>株式会社丹青社 30百万円</p>	<p>【I-10】</p> <p>平成27年度種子島宇宙センター射点系設備臨時修理作業</p> <p>三菱重工業(株) 27百万円</p>
<p>事業概要</p> <p>輸送系業務に利用する情報システム環境を提供する。</p>	<p>事業概要</p> <p>筑波・調布地区借上宿舎の維持管理業務を行う。</p>	<p>事業概要</p> <p>筑波宇宙センターの電気及び空調等の共通施設設備の保全作業を行う。</p>	<p>事業概要</p> <p>給与関連業務を行う。</p>	<p>事業概要</p> <p>ロケット・宇宙機解析技術の高度化に資する共同研究および教育を行う。</p>	<p>事業概要</p> <p>平成25年度から平成27年度上期までの資産管理業務を行う。</p>	<p>事業概要</p> <p>平成27年度下期から平成29年度までの資産管理業務を行う。</p>	<p>事業概要</p> <p>科学衛星データ処理システム新計算機の運用・保守を行う。</p>	<p>事業概要</p> <p>筑波宇宙センター展示館(スペースドーム)リニューアル作業を行う。</p>	<p>事業概要</p> <p>災害による臨時修理を行う。(種子島宇宙センター射点系設備)</p>

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	I.法人共通			B-4		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	業務費	土地・建物賃借料、電気・空調設備の運用・ 保全作業、警備業務等	3,511.2	役務	平成27年度 地球観測衛星のミッション運 用業務	396
	人件費	役職員の給与・退職金・社会保険料等	4,110.2			
	一般管理費	管理部門に係る物件費、公租公課	2,929.1			
	計		10,550.5	計		396
	B-1			B-5		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	製作	先進光学衛星の開発／衛星管制・ミッション 運用システム衛星固有部の構築及び初期 運用	2,728	役務	平成27年度追跡ネットワーク運用業務	388
	計		2,728	計		388
B-2			B-6			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
製作	光データ中継衛星を用いた光衛星間通信 システムの開発	637	役務	平成27年度地球観測業務請負(解析研究 関連)	371	
計		637	計		371	
B-3			B-7			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
役務	光データ中継衛星を用いた光衛星間通信 システムの設計検討	436	役務	地球観測衛星用Ka帯受信システムの整備	320	
計		436	計		320	

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	B-8			C-2		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	光データ中継衛星 光衛星間通信地上シ ステムの設計検討	214	役務	新型基幹ロケット用1段エンジンの開発ーエ ンジンシステム	5,018
	計		214	計		5,018
	B-9			C-3		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	平成27年度 準天頂衛星システム(QZS S)運用業務	204	役務	新型基幹ロケット固体ロケットブースタ及び 火工品開発	2,035
	計		204	計		2,035
	B-10			C-4		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	平成27年度「みちびき」測位ペイロード及 び地上システムの評価・維持支援	124	役務	新型基幹ロケット用1段エンジンの開発ー ターボポンプ	1,789	
計		124	計		1,789	
C-1			C-5			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
役務	新型基幹ロケット 機体システム開発	7,809	役務	平成27年度種子島宇宙センター射点系設 備保全作業	1,685	
計		7,809	計		1,685	

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	C-6			C-10		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	供給系総合試験設備 新型基幹ロケット用1段エンジンターボポンプ対応および液体酸素ターボポンプ試験機能付加改修	1,036	役務	平成27年度 射場系設備保全作業	466
	計		1,036	計		466
	C-7			D-1		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	ロケット専用治工具等の保守・維持(その8のA)	792	製作	X線天文衛星ASTRO-H フライトモデルの開発	1,053
	計		792	計		1,053
	C-8			D-2		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	平成26年度～平成28年度種子島宇宙センター共通施設設備等保全運用作業	682	役務	イプシロンロケット2号機の製作	990
	計		682	計		990
	C-9			D-3		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	平成28年度種子島宇宙センター射点系設備保全作業	490	役務	ジオスペース探査衛星パスの開発(その1)	907
計		490	計		907	

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	D-4			D-8		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	イプシロンロケット高度化開発	545	製作	観測ロケットS-520-30号機の開発	185
	計		545	計		185
	D-5			D-9		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	製作	小型月着陸実証機「SLIM」の開発	358	役務	イプシロンロケット2号機 計測通信系機器の製作	177
	計		358	計		177
	D-6			D-10		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	ジオスペース探査衛星 ミッション部の開発(その1)	331	製作	小惑星探査機「はやぶさ2」地上系システムの改修等	173
	計		331	計		173
	D-7			E-1		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	平成27年度 科学衛星・探査機の局管制運用等業務(内之浦、臼田)	282	役務	JEM搭載小動物飼育装置補用品の調達	440
計		282	計		440	

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	E-2			E-6		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	製作	JEM搭載小動物飼育装置の開発(その2)	406	役務	平成27年度 宇宙環境利用に係る航空機実験の実施	90
	計		406	計		90
	E-3			E-7		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	平成27年度 「きぼう」日本実験棟利用テーマの実験準備支援	175	製作	ループヒートパイプラジエータ軌道上実証実験用ハードウェアの開発(その4)	70
	計		175	計		70
	E-4			E-8		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	小動物飼育実験のためのユニークサービスの調達	110	製作	多目的実験ラックを利用する固体燃焼実験装置の開発(その1)	68
	計		110	計		68
	E-5			E-9		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	JEM搭載用静電浮遊炉 フライト予備品の整備	107	製作	水棲生物継代実験装置の製作および技術支援(その1)	61
計		107	計		61	

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	E-10			F-4		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	製作	平成27年度細胞培養実験供試体のフライトモデルの製作	54	役務	レーザー方式宇宙太陽光発電システム上下伝送試験準備等作業	22
	計		54	計		22
	F-1			F-5		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	マイクロ波ビーム方向制御装置の改良検討及び制御精度評価試験(追加試験)に向けた計画検討等	73	役務	高効率光電変換技術の開発	18
	計		73	計		18
	F-2			F-6		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	レーザー方式宇宙太陽光発電システム地上伝送実験用レーザー伝送システムの開発(その2)	48	役務	宇宙太陽光発電システム(SSPS)研究開発に係る支援業務(そのア)	9
	計		48	計		9
	F-3			F-7		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	マイクロ波ビーム方向制御装置における電子補正制御(REV制御)高速化実証試験	30	役務	宇宙太陽光発電システム(SSPS)研究開発に係る支援業務(そのイ)	8
	計		30	計		8

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	F-8			G-2		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	平成26年度 L-SSPSサブシステム要素研究に係る研究開発支援業務	8	その他	【IHIとの共同研究】高効率軽量ファン・タービン技術実証に関する共同研究	476
	計		8	計		476
	F-9			G-3		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	SSPS研究開発シナリオ、ロードマップの策定に向けた技術調査等	7	役務	平成27年度～平成29年度 風洞技術開発センター 風洞運用業務	169
	計		7	計		169
	F-10			G-4		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	シンチロメータLASMkIIの購入	7	役務	低ソニックブーム設計概念実証(D-SEND)プロジェクト D-SEND#2落下試験支援(その3)	129
	計		7	計		129
	G-1			G-5		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	製作	乱気流検知装置の開発(その2)	528	製作	JAXA実験用航空機「飛翔」用低騒音化デバイスの設計・製作	126
	計		528	計		126

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	G-6			G-10		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	気球を用いたソニックブーム計測の支援及び供試体落下試験(D-SEND#2)の支援	107	役務	遷音速フラッタ試験設備気流制御システムの一部改修	62
	計		107	計		62
	G-7			H-1		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	ファンブレード衝撃試験機の製作	83	役務	平成27年度追跡ネットワーク運用業務	1,360
	計		83	計		1,360
	G-8			H-2		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	乱気流事故防止システムの飛行実証(その1)	72	賃貸借	JAXAスーパーコンピュータシステムの賃貸借	822
	計		72	計		822
	G-9			H-3		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	乱気流情報提供装置の開発(その1)	70	役務	平成27年度～28年度 環境試験設備等の維持管理	579
計		70	計		579	

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	H-4			H-8		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	製作	イプシロンロケット4号機の製作	499	役務	平成26年度～平成28年度上期 機構法人文書及び技術情報の管理支援	253
	計		499	計		253
	H-5			H-9		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	JAXA共通情報システムに係る運用管理業務	429	役務	宇宙用0.15μmSOI製造プロセスを用いたアナログ・デジタル混載回路の開発(その5)	200
	計		429	計		200
	H-6			H-10		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	パース第1可搬局の移設整備	306	役務	臼田・内之浦宇宙空間観測所 送受信設備の更新	182
	計		306	計		182
	H-7			I-1		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	平成26～28年度 筑波宇宙センター共通系施設設備等保全運用作業	289	役務	平成27年度 輸送系業務実施環境の提供	129
計		289	計		129	

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	I-2			I-6		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	筑波・調布地区借上宿舎賃貸借契約に伴う賃料等(平成27年度分)	90	役務	平成25年度～平成27年度上期 資産管理業務	53
	計		90	計		53
	I-3			I-7		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	平成26～28年度 筑波宇宙センター共通系施設設備等保全運用作業	89	役務	平成27年度下期～平成29年度 資産管理業務	50
	計		I-4	計		50
	E-4			I-8		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	平成26年度給与関連業務	72	役務	科学衛星データ処理システム新計算機 運用・保守	34
	計		72	計		34
	I-5			I-9		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	平成27年度社会連携講座設置契約	57	役務	筑波宇宙センター展示館(スペースドーム)リニューアル作業	30
	計		57	計		30

I-10					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	平成27年度種子島宇宙センター射点系設備保全作業	27			
計		27	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)